

気持ちのいいフルートの音色

10月5日、ジョイじよぐらにおいて、「ふれあいミニコンサート」が開催されました。

このコンサートは、本町の勝山地区で風力発電施設を運営している株式会社ウィンドにより、社会貢献活動の一環として行われたもので、日本を代表するフルート奏者3名による演奏は、会場を訪れた方々の耳に心地のよい音色を刻みました。

また、翌日の6日には、上ノ国中学校の生徒を招いてのコンサートも行われ、「川の流れるように」や「宮崎駿アニメ・メドレー」などを演奏し、美しい音色が感受性豊かな生徒達の心に響き渡りました。



交通安全は、地道な呼びかけから

9月26日、上ノ国小学校、上ノ国中学校、上ノ国高校の生徒38名が秋の交通安全運動を行いました。

北村地区で行われたこの運動は、走行する車を路肩に誘導し、交通安全を呼びかけるビラや粗品を手渡すと、生徒達が「安全運転をよろしくおねがいします！」と元気よく声かけを行いました。

今年の4月に交通事故死ゼロが連続2000日を達成しましたが、この記録をさらに継続していくためには、車を運転する方々の、日頃からの安全運転が大切となります。

これから冬を迎え、路面や視界が悪化することから、安全運転を心がけ、事故のないまちを目指しましょう。



小学生が稲刈りを体験

10月3日、上ノ国小学校の5年生35名が、春に自分達が植えた米400kgを収穫しました。

この事業は、子ども達にいつも食べているものはどうやって作られるかを体験させ、作っている農業者の仕事や食べ物についての知識などを学ぶ食農教育の観点から行われているものです。

当日は、秋の日差しが温かい収穫日和となり、生徒達は稲刈り用の鎌を片手に、「元氣よく次々と収穫を行いました。」

収穫されたお米は、同じく自分達で育てたゴマと海水から作った塩を使っておにぎりにするとのこと、生徒達は「自分で植えたお米だから、早く食べてみたい」と今から待ちきれない様子でした。



札幌からの観光客が上ノ国を満喫

10月4日から5日にかけて、札幌からのツアー客32名が本町を訪れ、町内の史跡巡りや産業まつりを楽しみました。

4日は、勝山館跡や上ノ国八幡宮、上國寺などを散策し、北海道でも古い歴史を持つ史跡に触れ、ガイドの説明に興味深く耳を傾けていました。

また、夕食は旧笹浪家住宅を会場とし、くじら汁などお正月などで食べられた料理が再現され、風情を感じさせるおもてなしでツアー客に喜ばれていました。

また、翌日は産業まつりにも足を運び、活気あふれる会場の雰囲気を楽しみ、なかには山ほどの特産品を買い込んで帰られる方もいました。

